

京都市立東総合支援学校

令和5年度 前期学校評価について

令和5年12月1日

前期「学校評価アンケート」にご協力をいただきありがとうございました

前期学校評価アンケートは、Formsのアンケートで行い、児童生徒・保護者・教職員の回答結果と自由記述でいただいたご意見を基に、前期の取組について分析をしました。

紙面では、今回の結果と分析、学校の取組内容や改善策等について記載しています。今回の結果や自由記述でいただいたご意見は、全教職員で共有し、課題改善に向けて取り組んでいきたいと考えております。今後とも、どうぞよろしくお願ひ致します。

＜前期学校評価のねらいと方法について＞

(1) ねらい

- ◎今年度の学校経営の重点項目に沿って、児童生徒・保護者・教職員に対してアンケート調査を実施することによって、前期の取組に対する達成状況等を明らかにする。
- ◎達成項目や課題項目について、教職員・保護者と情報共有し改善に向けて取組む。

(2) アンケート実施方法

- ◎ 調査対象 : 児童生徒、保護者、教職員
- ◎ 時 期 : 令和5年9月中旬
- ◎ 調査方法 : 各項目について「実現度」を回答
- ◎ 回 答 者 : 児童生徒、保護者（1家庭に1枚）、教職員

(3) 回答率

	児童生徒（171）	保護者（168）	教職員（128）
回答数	54	103	121
回答率	_____	61.3%	94.5%

(4) アンケート結果

＜保護者アンケート結果＞

実現度の「よくできている」と「だいたいでできている」の回答を合わせた割合（%）を表示し、学部別に掲載しています。実現度の高い（90%以上）項目と、低い（60%以下）項目に着色をしました。

<項目>	◎学校経営の重点項目 「いのち」安心安全な学習環境	実現度		
		小学部	中学部	高等部
1	学校は、子どもの健康観察を丁寧に行い、健康に留意して学校生活を送るようになっている	100%	100%	88.6%
2	学校は、健康維持や体力づくりに関する取組を十分に行なっている	94.9%	95.0%	93.2%
3	学校は、教材や備品の整理整頓、安全・事故防止に配慮している	87.2	90.0%	95.5
4	学校は、避難訓練等を通して安全教育や防災に向けた取組を行なっている	87.2	70.0%	86.4
「よりそい」人権教育の推進				
5	学校は、子どもが生き生きと主体的に取り組む行事や授業を行なっている	89.7	100%	90.9
6	子どもに人権を尊重した言葉づかいや態度で接している	84.6	100%	86.4
7	子どもは、友達や周囲の人を大切にしようとする気持ちをもって過ごしている	48.7	80.0%	77.3
8	子どもは、自分なりの方法で挨拶をしている	82.1	80.0%	72.7

		小学部	中学部	高等部
「つとめ」学ぶことの意義				
9	学校は教育目標や方針を伝えてくれている	94.7	100%	81.8
10	「個別の包括支援プラン」には、保護者や本人の願いが反映されている	97.4	100%	90.9
11	学校は、子どもが理解しやすいように授業を行い、教材等を工夫している	94.7	95.0%	81.8
12	学校は、ICT機器を使って子どもが意欲的に学べるように取り組んでいる	71.8	80.0%	61.4
「ひろがり」社会に開かれた教育課程の実現				
13	子どもは、学校の決まりや約束を守って学校生活を送っている	71.8	85.0%	84.1
14	学校は、学年や学校だより、学校ホームページを通して学校の様子を伝えている	94.9%	95.0%	93.2%
15	学校は、外部機関や地域との連携を大切にしている	69.2	80.0%	90.9
「つながり」場を超える学習				
16	学校では、園や小・中（学部）学校や学部間の引継が確実に行われ、支援が継続されている	79.5	90.0%	65.9
17	交流及び共同学習では、子どもは楽しんで活動している	74.4	75.0%	70.5
18	学校は、子どもの社会参加の実現に向けた学習や支援を行なっている	66.7	95.0%	84.1
19	地域資源を活用した学習を通して、地域で生きる力をつけている	35.9	55.0%	56.8

保護者アンケートの結果から

実現度が80%を超える項目は19項目中、小学部では11項目、中学部では12項目、高等部では13項目ありました。実現度が60%以下の項目が小学部で7・19の2項目、中学部で19の1項目ありました。高等部は19の1項目ありました。また、「わからない」の回答率が30%を超える項目は、小学部で7・18・19の3項目、中学部で19の1項目でした。これらの項目につきましては改善の取り組みが必要だと考えています。

- ① 「7 子どもは、友達や周囲の人を大切にしようとする気持ちをもって過ごしている」の項目では、実現度が小学部48.7%、中学部80.0%、高等部77.3%と学部によって、評価に差がありました。小学部で肯定的な回答が低かった背景には「わからない」が43.6%もありました。また、教職員のアンケート項目である「友達や周囲の人を大切にしようとする取り組みをしている」においては、実現度が95.9%で、保護者と教職員の評価にも差がありました。学校では、日々の学習で児童生徒への指導や支援に取り組んでいますが、その姿を見て頂いたり、保護者へ具体的に伝えたりすることが十分ではなかったといえます。
- ② 「18 学校は、子どもの社会参加の実現に向けた学習や支援を行なっている」の項目では、実現度が小学部66.7%、中学部95.0%、高等部84.1%と学部によって、評価に差がありました。日々の学習が児童生徒の社会参加の実現に向けた学習や支援となっており、生活に生かせる力を育んでいます。学部によって、課題は違いますが、個々の目標に応じて取り組んでいきたいと考えています。
- ③ 「19 地域資源を活用した学習を通して、地域で生きる力をつけている」の項目では、実現度が低かったのは、コロナ禍の為に地域へ出ることが難しかった時期を終え、地域資源を活用した学習を行えるようになってきた時期がまだ間もないことから、このような結果になったと考えられます。今後も地域資源を活用し、地域の方々と学習する機会を設定し、人とのつながりを広げる学習にも取り組んでいきたいと考えています。

児童生徒アンケートの結果から

児童生徒アンケートの実現度の結果は、実現度が80%を超える項目は16項目中、12項目ありました。その他の項目も13の項目以外70%以上の実現度となり、学校経営の重点に沿った取り組みはほぼ達成できているという結果となりました。

- ① 「13 学年や学校だより、学校ホームページを見ている」の項目では、学校だよりや学校ホームページを通して、児童生徒の学校での様子がわかるようにしていきたいと考えています。学校ホームページについては、随時更新し見てもらうことで学校と家庭とのネットワークの構築へつなげていきたいと考えています。また、児童生徒が学校全体の取組を知るために、クラスでの活動や全校集会の機会に、学校だよりや学校ホームページの紹介に努めています。クラススタディ、学年集会、全校集会等で、児童生徒が、学年や学校だより、学校ホームページを見るように促したり、一緒に検索して見られるようにしたり、していきたいと思います。
- ② 「14 学校、学部、学年や先生が変わっても自分のことを同じように知ってくれている」の項目では、日頃より児童生徒の少しの変化にも気を配り、保護者と密に連携を取り、教職員間で情報を共有し、教職員全員で児童生徒の指導支援にあたるように取り組んでいきたいと思います。
- ③ 「15 交流や地域の場で、楽しく学習することができる」の項目では、居住地校交流についてご家庭からご希望のいただいた相手校と連絡をとって進めています。共同学習についても、本校と一緒に学習をしたり、防災について地域の高等学校と今後の生活に生かせる機会として一緒に学習を進めたりしています。地域の場での学習についても、地域資源を活用した活動をより取り入れていき、交流や地域の場で、児童生徒がつけてきた力を発揮できる学習内容について検討していきたいと考えています。
- ④ 「16 卒業後の生活について先生から話を聞いたり、自分で考えたりして進路学習をしている」の項目では、日々のクラススタディやライフスタディ、ワークスタディ等、学校で行なう教育活動は全て、今の生活や卒業後の生活に関わる学習となります。児童生徒一人一人が学習のめあてを意識し、「何のために学ぶのか」がわかるような授業作りをすることが大切だと考えています。

教職員アンケートの結果から

教職員アンケートの実現度の結果は、実現度の高い（90%以上）項目に着色をしました。実現度が80%を超える項目は19項目中13項目あり、その他の項目も19の項目以外70%以上の実現度となり、学校経営の重点に沿った取組はほぼ達成できているという結果となりました。

- ① 「15 外部機関や地域と連携を考えて取り組みや、授業を計画している」の項目では、外部機関と地域とのスムーズな協力体制を築き、特別支援教育のセンター的機能として役割を果たしながら、卒業後への円滑な移行支援を図ることに努めています。安心安全な環境づくりと指導を継続しながら、外部機関や地域連携システムを構築していく観点をもって、授業を計画し展開していく必要があると考えています。
- ② 「19 地域資源を活用した学習を計画し、地域で生きる力をつける学習をしている」の項目では、実現度が低かったのは、コロナ禍の為に地域へ出ることが難しかった時期を終え、地域資源を活用した学習を行えるようになってきた時期が間もないことから、このような結果になったと考えられます。今後も地域資源を活用し、地域の方々と学習する機会を設定した授業を計画し、児童生徒が地域で学び、地域と共に成長する授業づくりに取り組んでいきたいと考えています。

最後に

今回の学校評価アンケートの結果について、学校評価アンケートの項目について概ね達成できていると考えられますが、いくつかの課題も挙がってきています。課題につきましては、それぞれ考察の部分で述べていますが、これまでも継続して挙がっているものもあります。このことは、これらの課題を継続して取り組み、解決・改善していくかなくてはならないことを示しています。また、「つながり」場を超える学習についての項目に対して、「わからない」という回答が多いものもありました。本校の取り組んだこと、取り組んでいること、その成果等について、授業等で振り返りを行い、また、学校の様子をご家庭に発信していくことが大切であると考えています。これらの課題については教職員、保護者間での情報共有を図りながら、学校運営協議会とも連携・協力して課題の解決・改善に向けた取組を引き続き進めていきたいと考えています。